

平成 30 年 11 月 26 日

救命ボランティアによる AED 運搬システム実証実験開始

千葉県柏市では、市内の AED(コンビニエンスストア 136 台, 救急救命ステーション 261 台, 合計 397 台)とボランティアの方を組み合わせ、救命手当を必要とする人に、いち早く AED を届ける「AED 運搬システム」の実証実験を開始します。

実証実験は、柏市、国立大学法人京都大学 健康科学センター、株式会社ドーン、一般財団法人日本 AED 財団の 4 者が連携して、実施します。

1 実証実験期間

平成 30 年 12 月 1 日から平成 32 年 3 月 31 日まで

2 実証実験内容

スマートフォンに無料の専用アプリ「AED GO」をダウンロードしていただいたボランティアの方に、救命手当が必要な人の場所と AED の設置場所、及び経路をお知らせします。「AED GO」は京都大学 健康科学センター 石見拓教授と株式会社ドーンが共同で開発している、心停止者救命のためのスマートフォンアプリです。本システムを活用し、救命手当が必要な人のもとへいち早く駆けつけ、AED を活用できるようにすることで、更なる救命率の向上を目指します。

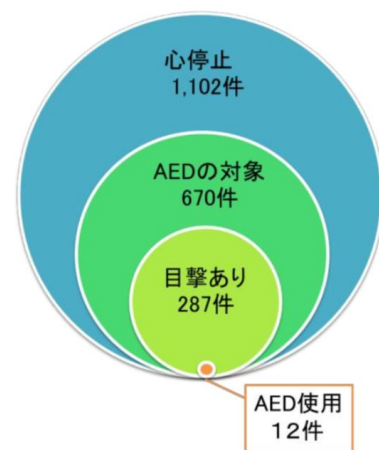
3 柏市の現状と課題

平成 27 年から平成 29 年までの 3 年間で心停止合計 1,102 件のうち、市民によって AED が使用されたのは、わずか 12 件 (1.1%)です。

倒れるところが市民によって目撃されている心停止合計 287 件のうち 4.2%の人にしか AED が届いていません。

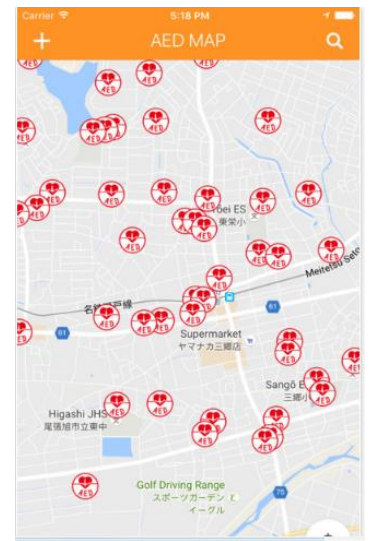
※AED の対象とは、心臓病等が原因で心臓が停止した人のことです。

※全国のデータの詳細については AED 財団のホームページをご参照ください。



スマートフォンアプリ「AED GO」とは

119番通報を受けた消防が、心停止の疑いのある事案に対して、アプリを通じてあらかじめ登録された救命ボランティアに対して患者の情報を通知し、通知を受けた救命ボランティアが最寄りのAEDを現場に届けるためのシステムです。すでに設置してあるAEDを倒れた人のところに救急車が到着するより早く持って行くことができれば、より多くの人にAEDが使用され、救命率が上がるのが期待されます。AEDの使用を偶然から必然に変えるための社会作りを目指します。



AED GO の画面

AED 運搬システムの概要

<本件に関する問い合わせ先>

一般社団法人 日本 AED 財団

担当：宮垣 雄一

電話 03-3253-2111 / FAX 03-3253-2119

E-mail : info@aed-zaidan.jp